

# 未来への責任を果たすために! まつばら和生市政報告

市長選挙は現職の  
細江茂光氏を推薦

議会運営委員会の  
行政視察(岡山市)

金華公民館で  
市政報告・ご意見を伺う会

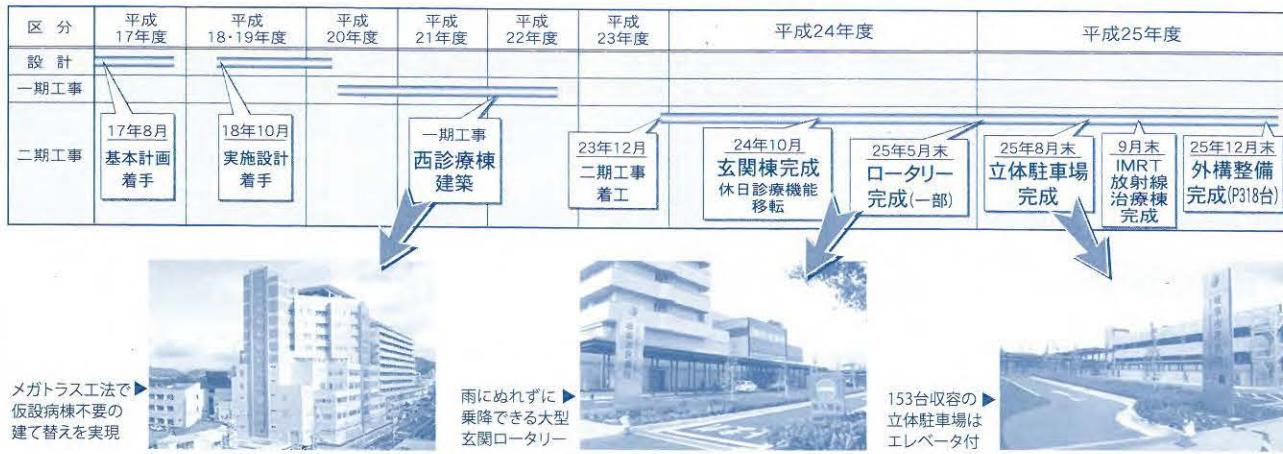
本会議質問に登壇(ぎふチャン生中継)

年末特別夜警の  
火災予防広報

## 岐阜市民病院の改築整備事業が完了

岐阜市民病院は、昭和40年代に建築された外来診療棟と西病棟の老朽化による耐震性、機能性の問題などから、快適な療養環境と医療サービスの提供が困難な状況になっていました。そこで、より高度で先進的な医療の提供と快適な療養環境を確保し、今まで以上に患者の満足のいく医療サービスの提供を行うため、外来診療棟と西病棟の改築整備を実施しました。平成17年度に基本計画策定に着手。平成23年度には第一期工事として、メガトラス工法

(仮設病棟不要)で、屋上にヘリポートを持つ11階建ての西診療棟が完成しました。引き続き、第二期工事として、玄関棟、立体駐車場、ロータリー、外構などの整備を行ってきましたが、25年12月までに全てが完了し、12月21日、完成記念式典が行われました。総事業費は128億円。地方都市の市民病院の経営難が全国で問題となっていますが、岐阜市民病院は健全経営を維持しており、今後も良質で安全な医療を、安定的に提供しながら、市民の生命と健康を守る役割を果たすよう、市議としてチェックしながら応援したいと思っています。





## 本会議での質問

詳しくは、松原和生のホームページ（[松原和生](#)）  
岐阜市議会のホームページ（[岐阜市議会](#)）をご覧ください。

### 本会議一般質問（12月6日）

#### Q1. 異常気象時等の児童生徒の学校待機について

【A. 教育長・都市防災部長】

- 岐阜市では登校後の全ての警報発令時に、学校待機を原則とするよう改め、保護者に引き渡すこととした。連絡が取れない場合でも、最後の一人まで教職員の管理のもとで預かる。先日、市内の高校で、落雷で全ての電気が1日止まり、トイレの水の汲み上げも出来なかった。様々な事態を想定し、地域の災害用備蓄品の活用など都市防災部との連携も含め、しっかりと対応する。

#### Q2. 長良川中流域の文化的景観選定と地域住民の生活について

【A. 教育長・副市長】

- 長良川中流域における岐阜の文化的景観の、国の重要文化的景観選定は、東海地区で初。重要な構成要素の修繕に市の補助が得られる。観光面での宣伝効果も期待できる。今後は、関係部局の連携を図りながら、この選定を活用するとともに、鵜飼のユネスコ無形文化遺産登録への足掛かりとしたい。

#### Q3. 有害鳥獣駆除に対する獣友会の支援について

【A. 農林部長】

- 農作物に被害を与え、市街地にも出没するイノシシなど有害鳥獣の捕獲は、獣友会の協力が不可欠だが、会員数の減少と高齢化が進み、今後の継続的な捕獲の実施が心配される。講習会の講師を獣友会に委託するなどイメージ向上、箱罠の購入支援などを行っている。山間部では市職員が狩猟免許を取得する、「公務員ハンター」を養成する動きもあるが、現時点では困難。他市の事例を参考に、獣友会への新たな支援策の研究や効果的な有害鳥獣駆除のあり方を検討したい。



獣友会によって捕獲され金華地区から運び出されるイノシシ

#### Q4. 徹明小・木之本小・本荘小校区が通学する中学校について

【A. 教育長】

- 名鉄岐阜駅前から市民病院の先まで歩くのが、徹明小校区から本荘中に通学する生徒の現状。中心部に土地が無いため我慢を強いられてきた。昨年、伊奈波中と明郷中へ川南から通学する生徒の状況が、金華小と京町小の統合で誕生した敷地への岐阜中央中の建設で解消した。徹明小と木之本小の統合の話があるが、同様にして3小校区の中心となる木之本小敷地に、中学を移設すれば解消できる（隣接公園と合わせ面積を確保）と提案したのに対し、「小学校の統合場所を2校で議論中であり、地域・保護者の意見を聞きながら、子ども達にとって最善の利益は何かという点から判断したい」ということです。

### 本会議一般質問（9月17日）

#### Q1. 公立高校入試制度変更の現状について

【A. 教育長】

- 特色化選抜と一般選抜による従来の方法は、多くの問題点が指摘されていたため、この春から、シンプルな選抜制度に改善された。5月に県教委が実施した高校1年生と中学校長へのアンケート調査では、概ね良い回答の結果が見られる。今回の制度改革を評価しながら、課題があれば、継続的に改善を加えるよう具申していく。

#### Q2. 模範運転の心構えについて

【A. 行政部長】

- 市職員による交通事故は、公務中、公務外ともに依然として多く発生している。近年、厳しい注意・指導や安全教育を行った結果、やや減少となった。公務の内外を問わず、交通安全行政をつかさどる市役所の一員であるという自覚・意識を高め、市民の模範となるような安全運転で、事故防止に取り組んでいきたい。



#### Q3. 基金の運用状況について

【A. 財政部長】

- 基金（市の貯金）は、地方自治法・地方財政法で、預金・国債などリスクの少ない方法で運用することが定められている。407億円の基金全体の7割を預金、3割を国債で運用している（預金利率=0.045%、国債利率=0.08%）。一般的には国債がより有利である。地域経済への配慮も勘案しながら研究していく。

#### Q4. 友好姉妹都市交流の活発化について

【A. 市民参画部長・教育長】

- 先月、30周年記念式典に訪問したブラジルのカンピーナス市やイタリアのフィレンツェ市、中国の杭州市など、世界6都市との友好姉妹都市交流は有意義。もっと市民が参加しやすい、身近な交流の機会を提供していく。
- 学校間の友好提携は、子どもにとって国際交流の貴重な体験であり、関係部局が連携して取り組んでいきたい。

#### Q5. 土砂災害防止法に基づく特別警戒区域の指定による影響について

【A. 都市建設部長・基盤整備部長・財政部長】

- 土砂災害から国民の生命を守るために制定された。警戒区域（イエローゾーン）と特別警戒区域（レッドゾーン）を県が指定する。レッドゾーンには、建築上の規制がかかり、岐阜公園再整備計画や岐阜町発祥の地・まちなか歩き構想の一部にも影響を及ぼす。
- レッドゾーンの指定は、県が法律に基づき、専門家の意見を聞きながら策定した、県下統一の基準による。金華山の岩盤の硬さを考慮すること等による区域縮小の可否も含め、地元関係者への丁寧な説明を、県に働きかける。
- 固定資産税の補正については、他の法的規制を受ける土地の例から、2割以上の部分をレッドゾーンに指定された宅地等の評価額を3割減価するように準備する。



土砂災害防止法に基づく特別警戒区域の指定に関する説明会

## News & Topics

### 岐阜市庁舎のあり方検討委員会

岐阜市庁舎のあり方検討委員会が設置されました。市庁舎の老朽化、庁舎機能が分散し狭隘でバリアフリー化が不十分なこと、南海トラフ地震の際に災害対策の司令塔として使用できなくなる可能性が高いことなどから、新市庁舎の建設について市長が諮問しています。

今後、現在の市庁舎の問題点等を踏まえ、①新市庁舎建設の必要性の有無と時期、②必要と認められる場合には機能・規模、③機能・規模と諸条件から建設候補地…について段階的に審議され、秋頃をめどに答申が示される予定です。

委員のメンバーは、岐阜大副学長（地震工学）、名城大教授（まちづくり）、岐阜工専教授（都市計画）、同（コンクリート工学）など学識経験者4名。岐阜商工会議所専務理事、（以下岐阜市）自治会連絡協議会副会長、身体障害者福祉協会会長、女性の会連絡協議会副会長、民生児童委員協議会副会長、PTA連合会副会長など各界各層代表の8名。一般公募3名の計15名です。内、女性は4名です。市政にとって重要課題であり、今回も傍聴しましたが、熱心な質疑と議論が交わされました。

尚、有利な条件で建てられる合併特例債の期限から逆算すると、建て替えの場合には、新年度中にはその判断を決めなければなりません。

※合併特例債とは、平成の大合併を促進するために設けられた制度（岐阜市は旧柳津町と合併）で、対象事業について建設費用の95%まで借り入れることができ、返済時に元金と利子の70%を普通交付税として国が肩代わりしてくれます。これには期限があって、平成32年度までに完成することが必要条件ですが、市の負担はずっと軽くなります。



築48年の現市庁舎（南庁舎は築54年）

## 写・真・で・見・る・日・常・活・動

### ((((( 9 月 ))))))))



### ((((( 10 月 ))))))))



### ((((( 11 月 ))))))))



### ((((( 12 月 ))))))))

